

お子さまの見えるを未来へ

目の異常は見た目ではわかりません。

早期発見・早期対応が、

お子さまの可能性を広げます。

このようなサインはありませんか？

- ☒ テレビやタブレットに近づく
- ☒ 目を細めて見る
- ☒ 顔を傾けて見る
- ☒ 本や絵を近くで見る
- ☒ 目線が合いにくい
- ☒ 片目を隠す

見えにくさは気づきにくい

弱視は50人に1人^{*1}

見えにくさに気づかず、
治療のタイミングを
逃してしまうことがあります。

近視は低年齢化^{*2}

小学校低学年から近視が
みられるお子さまが
増えています。

早期発見・早期対応が大切

お子さまの視力の発達や、
将来の目の健康を守るために
定期的なチェックを。

当院では、小児の視機能評価の一環として
屈折検査機器を活用しています。

屈折検査とは？

近視

遠視

乱視

不同視

など

お子さまの目の状態を客観的に測定する検査です。

写真撮影のように、
数秒で
お子様に触れずに
検査する
ことも可能です。

気になることがありましたら、スタッフまでご相談ください。

お子さまの「見える」を一緒に守っていきましょう。

※このポスターは、目の健康に関する情報提供を目的としたものです。

^{*1} 3歳児健診における視覚検査マニュアル 眼科医会 https://www.gankaikai.or.jp/school-health/2021_sansaijimanual.pdf

^{*2} 公益社団法人 日本眼科医会「気をつけよう！子どもの近視」 <https://www.gankaikai.or.jp/health/57/index.html>